

前中榮子、 日本の歌をうたう

演奏曲目

團伊玖磨 曲 北原白秋 詩 「六つの子供のうた」

1 いたち 2 ひょうたん 3 秋の野 4 さより 5 からりこ 6 雪女

團伊玖磨 曲 大木実 詩 「抒情歌」

1 花季 2 路地の子 3 藤の花

團伊玖磨 曲 木下順二 作 * オペラ『夕鶴』より 私の大事な与ひょう

木下牧子 曲 三好達治 詩 「動物詩集」(2009年二期会日本歌曲研究会委嘱作品)

1 牝鳥 2 揚げ雲雀 3 牛 4 蟹 5 蟬 6 鶴鴿 7 蟋蟀

「愛と平和への祈り」

黒髪芳光 曲 西岡光秋 詩 「ヒロシマのツル」から

1 あの日が近づくと 2 ツルを折る 3 ツルのなみだ

リクエスト曲から

中島はる 曲 鶴岡千代子 詩 * 無伴奏独唱曲「篠笛」

新実徳英 曲 星野富弘 詩 * ぼら きく なずな 「母に捧ぐ」

越谷達之助 曲 石川啄木 詩 * 初恋

*印の曲は、これまでのリサイタルアンケートのリクエスト曲です

第20回

前中榮子 Soprano Recital 日本の歌をうたう

Piano 花岡千春

□日時 2010年3月30日(火)19:00開演(18:30開場)

□場所 東京文化会館小ホール

□入場料(全席自由) 4000円(一般) 2000円(学生)

□後援 財団法人東京二期会 二期会日本歌曲研究会 社団法人日本演奏連盟

□マネジメント 財団法人東京二期会

□チケット・お問い合わせ 二期会チケットセンター 03-3796-1831

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

前中榮子事務所 048-479-1540(同FAX)





前中 榮子

ソプラノ

Eiko Maenaka
Soprano

大阪府堺市に生まれる。大阪音楽大学音楽学部声楽科卒業。

伊藤京子、中山悌一、浦山弘三、レッサ・コレワ（発声）各氏に師事。

二期会関西支部研究生修了後、東京に演奏活動を移す。

1980年ジョイントリサイタル、1982年第1回リサイタルを開き東京での演奏活動を開始、

1985年第2回リサイタルでは、日本歌曲の言葉に対する絶妙なリアクションとヒューマンな歌唱表現を称賛されNHK・FMの推薦を得る。

1986年より「日本の歌をうたう」シリーズを始める。

1988年、作曲家・湯山昭氏をゲストに「湯山昭の夕べ」を開く。

1989年韓国に招かれ、心身障害者の為のチャリティーコンサートをソウルで12回公演、好評を博す。

1991年ミュンヘンにてハンス・ホッター特別マスターコース講習会に参加、

1995年第10回記念リサイタルでは作曲家・中田喜直氏をゲストに、

山田康子基金の助成を得て「中田喜直の世界」を開催、

1996年所沢出身の女流歌人（三ヶ島霞子）の詩を歌いNHKニュースや埼玉テレビで放映される。

CD・尺八・十七弦と共演の「じゃがたら文」がN・Yリンカーンセンターのホールで日舞と共演。

第11回リサイタルを東京・大阪で開く。

1998年、母校、篠山鳳鳴高等学校音楽学部創部50周年記念と

たんば田園ホール開館10周年記念主催公演リサイタルでは満員の観客にて好評を博す。

1999年、丸木美術館主催8月6日「ひろしま忌」に出演、

近年では「愛と平和への祈り」をサブタイトルに毎年リサイタルを開催、

二期会日本歌曲演奏会に毎回出演等、日本歌曲を中心に演奏活動を続けている。

これまでのリサイタルでは音楽の友・音楽現代・ショパン等で好評を博す。

'90・'92・'96・'98・'00・'03・'08年ライブCD発売。

04年三鷹文化センター風のホールにて録音のCD「日本の歌に魅せられて」を発売。

日本歌曲の深さに年々魅せられている。

二期会会員・日本演奏連盟会員・Il canto del cuore（歌は心）主宰・国際基督教大学高等学校非常勤講師。

前中榮子ホームページ <http://www5.ocn.ne.jp/~eiko2114/>



花岡 千春

ピアノ

Chiharu Hanaoka
Piano

東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業、同大学院ピアノ専攻科修了。

在学中よりNHK-FM放送、毎日新聞社主催「毎日ソリスト」などに出演。

故・安川加壽子、矢部民女史らに師事。大学院修了後、フランスに留学。

パリ・エコール・ノルマル音楽院に入学、アルフレッド・コルトーの高弟ジャン・ミコー氏に師事。

演奏家資格の試験で第一等首席を取得。以後は同院のアシスタントとして指導に当たる。

その後イタリアに居を移し、カセッラの高弟ピエロ・グワリーノ氏のもとで古典イタリア音楽、

及び近・現代のフランス、イタリア音楽の研鑽を積んだ。

フィナレ・リグレ国際ピアノコンクール、バルマ・リスト国際ピアノコンクールなどで上位入賞。

イタリア国立シチリア交響楽団、RAIイタリア放送交響楽団と共演や、

パリ・ユネスコ本部での音楽会に出演。

帰国後は、ソロ・リサイタルをはじめ、室内楽や歌手との共演、

CD録音や放送（NHK-FM、TBS、NHK衛星放送）に活躍。

『音楽現代』『ムシカノーヴァ』誌などの、日本人ピアニストのランキングで常に高い評価を受けている。

1996年から8年間秋田大学の助教授、2004年4月から国立音楽大学教授として教鞭を執っている。

フランス・ブランクのピアノ独奏曲全曲演奏会（本邦初）、ジェルメヌ・タイユフェール

やタンスマンの作品展などは、各方面から評価を受けたが、

特に1999年に開催した『花岡千春ピアノ独奏曲』で芸術祭大賞を受賞。

日本の中堅ピアニストのひとりとして評価を固めている。

フランス、トルコ（文化庁派遣）、台湾などの海外公演、

2003年3月にパリ日本文化会館で開催された『日本の女性作曲家とタイユフェール』に

焦点を当てた演奏会は、日仏両国で大きな反響を呼んだ。

演奏活動と共に、日本各地のコンクール審査員を歴任。

2002年からは文部科学省の『若手芸術家海外派遣』制度の選考委員に就任。

欧米での派遣研究員の実状や文化庁の支援事業等の視察、調査などに携わっている。国立音楽大学副学長。

二期会21企画&製作による日本の歌のコンビネーションCDが、2010年2月に発売予定です。

収録歌手 足立さつき・小川明子・釜洞祐子・腰越満美・佐藤しのぶ・佐竹由美・鮫島有美子・塩田美奈子・谷口睦美・
前中榮子・増山美知子・松本美和子・安田祥子